

募 集 要 項

| | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 氏 名：伊藤 正隆 | 研究室：第4研究棟 312 |
| 専攻分野：管理会計、原価計算、財務分析 | |
| 演習テーマ：企業経営における会計の役割 | E-mail：masaito9@cc.kyoto-su.ac.jp |

演習内容・主なテキスト

この演習では、マーケティング、イノベーション、戦略、および組織といった「企業経営における会計の役割」という演習テーマのもと、管理会計、原価計算、そして財務分析等について学んでいきます。また、これらの知識の習得のみならず、得た知識を活かし、自分なりに課題を解決し、他人に伝えるという社会人に必要な基礎能力の獲得も目指します。

企業を経営していく上で、会計は非常に有用な情報を提供しています。例えば、経営者が掲げる企業の戦略は、会計数値として従業員に示すことによって具体的な目標となります。また、マーケティングの結果や従業員の活動成果も会計数値として集計・表示することによって実績が把握できるようになります。本演習では、こうした企業経営における会計の役割（どのように役立つのか）について、理論的な学習のみならず、工場見学等のフィールドワークを通じて実務における実践例についても学ぶ予定です。また、自らテーマや仮説を設定し、取り組むような外部のコンテストにも参加する予定です。

本演習では、企業経営に役立つ会計に関する基礎知識を身につけるために、入門的なテキストを用いて進めていきます。こうしたテキストの内容に基づいてレジュメを作成し、発表してもらいます。加えて、外部のコンテストに取り組む際には、グループワークやディスカッション等を行います。また、日商簿記検定の資格取得（2級・3級）を目指して、ゼミの授業以外に時間をとって勉強会を実施することがあります。公認会計士や税理士等の資格を取りたいと考えている学生には、当該資格の勉強時間について考慮をするつもりです。

さらに、勉強面での活動のみならず、他大学との交流やゼミ合宿、そして学園祭への参加など、多彩なイベントを随時実施する予定です。

（昨年度（2023年度）は、工場見学・縦コン・BBQ・学園祭への参加・忘年会・ゼミ合宿を実施しております。本年度（2024年度）では、これまでに工場見学・縦コン・BBQ・学園祭への参加・運動会などを実施しています。）

本演習では、以上のような活動を通して、(1) 自ら学ぶ力（多くのことに興味を持ち、それを知ろうと行動する力）、(2) 自分で考える力（見聞きした情報から自分なりに解釈し、意見を持つ力）、(3) 常識力（社会人として必要なルールやマナーに関する力）、そして(4) コミュニケーション力（自らの考え・意思を互いに伝達する力）の習得と向上を目指します。

<演習1>

『図解管理会計入門』というテキストを用いて、企業経営に役立つ会計の基礎について学びます。先輩達で構成されるアドバイザーにも協力してもらい、グループでレジュメやスライドを作成し、発表してもらいます。ここで、グループ活動や発表準備の仕方など、その後の演習に必要な基礎的な方法を身につけます。また、経営実践の理解を深めるために工場見学等のフィールドワークを実施する予定です。資格を持っていない学生には、

日商簿記検定で3級の取得を目指してもらいます。

<演習2>

管理会計に関するテーマについて学習し、管理会計に関する知識を深めます。ここでは、グループで各テーマに関するテキストや専門書など自ら選定し、レジュメやスライドを作成し、発表してもらいます。テキストに記載されている内容だけではなく、他の文献（論文等）を読んで知識を深めてもらいます。また、経営活動の実践として、学園祭で模擬店を出店してもらいます。資格取得に関しては、簿記検定で2級または3級の取得を目指してもらいます。

<演習3>

演習3では、「日経ストックリーグ」という株式投資コンテストに参加するために必要な知識を学びます。企業を財務面から分析する財務諸表分析や、株式投資に関する基礎知識などについてグループ発表してもらいます。後半では、実際に「日経ストックリーグ」に参加してもらい、その中でそれまでの知識を用いて、自分達でテーマを設定し、様々な視点から企業を分析してもらいます。

<演習4>

引き続き「日経ストックリーグ」に取り組みます。最終的にはレポートという形で「日経ストックリーグ」の大会本部の方へ提出してもらいます。「日経ストックリーグ」に取り組むことによって、自らテーマや課題を設定し、それらに関する資料を調べ、必要なデータを収集し、集めたデータを分析し、分析結果から考察し、最後に自分なりの結論を出す力を身につけます。これらの力は、演習5・6において卒業論文を書くために必要な力となります。

<演習5・6>

本演習および本学における学びを通して身につけた力の集大成として、各個人で自ら興味のあるテーマを設定し、卒業論文を執筆してもらいます。就職活動の状況を踏まえて、適宜、進捗状況の報告とディスカッションを全体で行いながら、論文の作成を行います。

教員からの要望

本演習では、会計を中心とした学びを通して、将来の社会を担って立つ人材の育成を目指しています。そのため、学業面のみならず、人間教育という面においても力を入れています。このような人材育成に取り組むために、本演習を志望する学生には次のようなことを要望します。

①ゼミ活動を最優先すること（部活動を除く）

授業外での活動（準備や打ち合わせ等）が多くなりますが、大切なゼミ活動の一環です。ゼミの活動を最優先し、主体的に学習に取り組んで頂けることが望ましいです。

②自己管理をすること（遅刻や無断欠席をしない）

体調不良などで無理をする必要は一切ありませんが、自らの行動に責任を持って十分な学修ができる状態を維持することを心がけてください。

③何事にも好奇心を持ち、積極的な行動をとること（勉学のみならず、趣味などにも）

いろいろなイベントなどに前向きに取り組んで頂けることが望ましいです。

④先入観を持たず、あらゆる人物と交流を図ること（上下関係も含む）

ゼミでは、考え方や価値観に関して多様な人材が集まることが予想されますが、社会はもっと多様な世界です。狭い人間関係で済まそうとはしないで頂きたいです。

また、簿記・会計に関して初学者であっても、日商簿記3級および2級の習得を目指してもらいます。

履修希望科目

商業簿記Ⅰ・Ⅱや会計学概論などの会計関連の科目のみならず、経営学やマーケティングなどの経営関連の科目なども広く履修していると良いです。ただし、こうした科目を履修していなくても、本ゼミにて学びたいという意欲のある学生は歓迎します。

教員の自己紹介

三重県四日市市出身の伊藤です。昔から勉強よりも体を動かす方が好きで、小学校と中学校はサッカー部、高校は硬式野球部、そして大学ではテニスサークルに所属していました。そのため、球技ならばある程度こなせます。漫画やゲームなども好きで、最近では「はたらく細胞」のシリーズを大人買いして楽しんでいます。その他にも面白いものがあれば是非とも教えてください。

ゼミ生からの紹介

4回生：大西 一世

伊藤ゼミでは管理会計について学びながら資料作成能力・プレゼン能力を培うことが出来るゼミです。入ってすぐに管理会計の基礎的な部分を学び、それに関する資料を作り、先生と同期に向けて発表を行います。最初は不安ですが、ゼミの先輩方が資料作成、発表に向けてのサポートをしてくれるので安心です。自分と同じく管理会計について興味があって学び始めたいと思って入る人も多くいるので、みんなで目標をもって勉学に勤められます。他にも勉学をサポートする側面として、資格所得のためにゼミ前やゼミ後に勉強会を行っています。一人では難しい勉強も同じ志をもつ者たちと一緒に勉強すればモチベーション向上にもつながる勉強会です。

また、勉学以外にもイベントや他学年との交流の機会が多いのも伊藤ゼミの特徴です。会計事務所の見学、工場見学、学年を交えた食事会・運動会、学祭の出店など多くのイベントを行います。貴方も仲間と一緒に伊藤ゼミを盛り上げていきませんか。

4回生：廣瀬 智奈美

伊藤ゼミは、学生主体の管理会計のゼミです。管理会計というと難しそうに思われることが多いのですが、積極的に頑張ろうという気持ちさえあれば会計初学者でも大丈夫です！先輩アドバイザーや伊藤先生がしっかりと助けてくださいます。

ゼミに所属してすぐに、発表のグループごとに先輩アドバイザーがついてくださって、パワーポイントのスライド作成や発表の仕方についてのアドバイスだけでなく、ゼミ以外の履修相談にも乗っていただきました。的確なアドバイスはとても心強く、発表を重ねるごとに、会計知識・プレゼン力について少しずつ学んでいくことができたと思います。

また、ゼミでは発表以外にも、伊藤先生が開いてくださる簿記の勉強会、税理士事務所の見学会、工場見学、食事会、文化祭への出店など多くの行事があり、活動はとても充実しています。ぜひ、伊藤ゼミと一緒に楽しみましょう！

3回生：東野 大樹

「管理会計」と聞いて、何を思い浮かべますか？管理会計は3回生からの授業なので、想像つかない方も、たくさんいると思います。想像できない学問のゼミに入ることは、不安に思うことも多いでしょう。伊藤ゼミでは、ゼミの先輩たちが、新入生をサポートしてくれるので、安心してください！

伊藤ゼミでは管理会計の知識の定着だけでなく、パワーポイントを使った発表により、人に伝える難しさなども学ぶことができます。そしてこのゼミでは、たくさんのイベントを通して、様々な経験を積むことができます。伊藤ゼミは、勉強だけでなく、遊びにも本気で取り組むゼミです。3年間のせっかくのゼミ授業を、僕たちと一緒に本気で取り組んで

みませんか？

両方に全力で取り組めば、自ずと楽しいゼミライフに出会えると思います。ゼミを満喫したい方は、是非とも伊藤ゼミにお越しください！！

3回生：森永 玲南

伊藤ゼミを一言で表すとしたら「成長する機会がある場所」だと思っています。私は会計初学者で、「伊藤先生の講義が面白かった」、「会計に興味がある」という理由で伊藤ゼミを志望しました。初めはとても不安でしたが、先輩がサポートで付いて下さり、管理会計の基礎からプレゼンのコツまでアドバイスして下さいました。

ですが 2 回目の発表準備の際に、サポーターの先輩は付いてくありません。そのため私は積極的に参考資料の提案をしたり、何度も発表練習をしたりと、会計の知識が乏しい分、他に出来ることは誰よりも頑張ろうと積極的にゼミ活動に参加しました。ゼミに所属して約 1 年半経ちますが、会計の知識が身についただけでなく、パワーポイントを用いたスライド作成やプレゼン能力の成長をととても感じています。

また伊藤ゼミは年間を通してイベントがとても多く、様々な事を経験することが出来ます。どのような心持ちでゼミに参加するかによって、楽しみ方や成長できる部分は違ってきます。貴方は伊藤ゼミでどのように楽しみ、成長したいですか？



運動会実施時の集合写真（2・3・4回生）



授業風景